

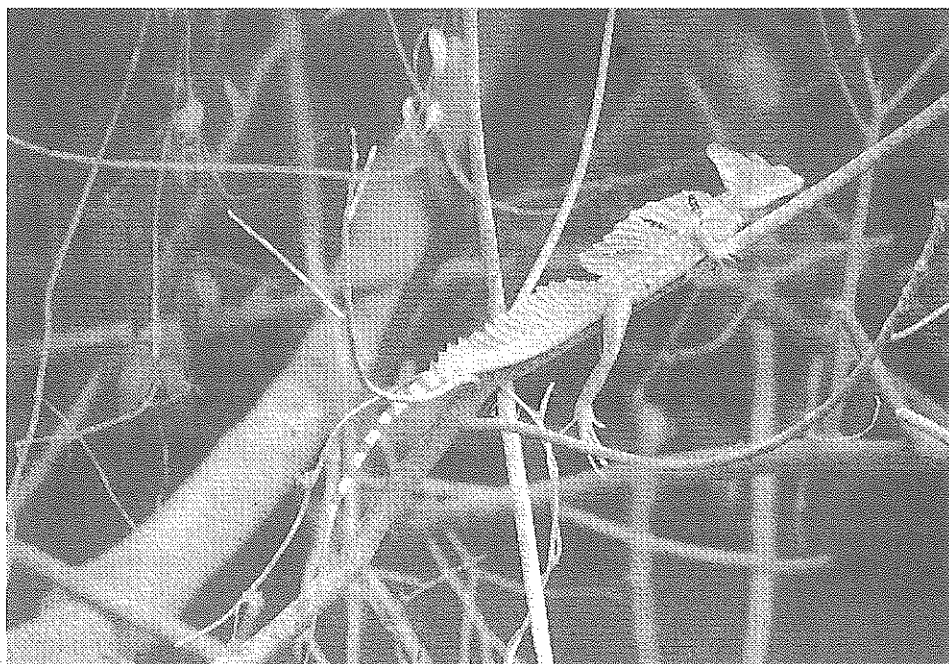
Save The Tropical Forests



森の通信

2000.3.28

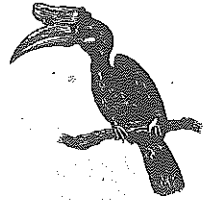
- ◆ エコツアー体験記 in COSTARICA (最終回) 大平浩子
  - ◆ エコアドル日記より… 西村久美子
    - ◆ 9年ぶりのサラワへ ③ 奥地へ延びる代採
- ◆ 国産材を訪ねて「奈良・室生村」



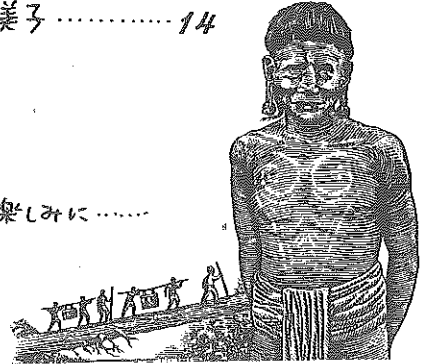
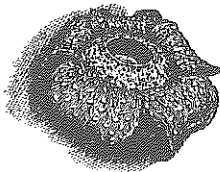
【バシリスク・エメラルダ】 コスタリカ・カーニョネグロ 国立野生保護区にて、  
豆畑のギザギザは オスにしげない。

2000.3.28

- 2000年・ウータン活動方針…………… 3
- 3/4 WTO 説明会…………… 4
- 世界の森林問題ニュース…………… 5
- 「9年ぶりのサラワクへ」③ 奥地へ延びる伐採…………… 6
- 国産材を訪ねて(奈良県室生村)…………… 8
- ウータンニュース(新聞記事より)…………… 10
- エコツアー体験記 in COSTARICA(最終会) 大平浩子…………… 11
- エコアドル日記より②「リオ・ムケア4日」 西村久美子…………… 14
- 森林どんぶりと STAFF 紹介…………… 18
- 会計より(99年会計報告とみ便り)…………… 19



「真・日本林業論」は今回はお休みです。次回をお楽しみに……



## 【ウータン活動報告】

'99.12月~00.2月

- 1999・12・4 米国・シアトルでWTO(世界貿易機関)、自由貿易の関税引下げ交渉決裂。ホスト国の米国通商代表部バシェフスキーが一方的に決裂宣言発す。
- 12・6 『森林どんぶり』第6回の打合せ、篠宮、川本、荒川
- 12・10 『森林どんぶり』第6回「何かしてみいへん…NGO活動、インターネットなど」講師/篠宮、川本、荒川
- 12・11 気候ネットワーク主催『市民が進める温暖化防止99』シンポジウムと分科会。
- 12・12 第1分科会「消えゆく森と地球の温暖化」話し手\*橋本征二(熱帯林きょうと)、ケンロジャース(オーストラリア)、熊崎実(元筑波大教授)、小倉正(元JATAN)、栗岡理子(古紙問題市民ネットワーク)/司会:西岡良夫/受付:牛田等(ウータン)他
- 12・14 通信『ウータン54号』発送。
- 12・18 アースデイおおさか第3回運営委員会/参加:西岡、川本
- 2000・1・8 環境教育部会ミーティング/奥村、米沢
- 1・15 アースデイおおさか第4回運営委員会/参加:西岡、川本
- 1・31 ウータン総会、於★クレオ大阪東
- 2・3 地球の友、JATAN、サラワク・キャンペーン・委員会、グリーン・ピースとWTO問題、ITTO(世界熱帯木材機関)問題、4月のG8環境相来日等打合せを東京で。参加:西岡
- 2・12 アースデイおおさか第5回運営委員会/参加:西岡
- 2・19 環境教育部会ミーティング/奥村、米沢、笠原、春日、井下他

※ 本誌は再生紙を使用しています。

【表紙】新草木染・ハーブ(64.5kg、古紙40%)

【中紙】バガス(55kg、非木材材紙50%、古紙35%)

# 2000年・ウータン活動方針

～21世紀のテーマは原生林・熱帯林、これ以上の伐採を許すな～



事務局長・西岡良夫

## 1. 2000年の問題とウータンの方向

- ① 99年12月、米国シアトルでWTO閣僚会議が開かれた。しかし、NGO、労組等世界から集まった団体と、途上国の反発等により閣僚会議は、米国通商代表部が一方向的に中止宣言を打ち出した。もしこれ以上関税率が下がれば、日本への輸入量は林産物でも5.8%増と予想されるとの報告も発表されていたのだ。今までの経緯からすれば、現地で森林破壊。日本等では、消費拡大・環境汚染で関税引下げは「NO!」だ。今年もWTO問題に対する取組みは重要だ。
- ② 熱帯材は異常な伐採により枯渇し始めている。それに変わって、日本へロシア材の輸入が急増。もちろん原生林破壊によるもので、99年中の輸入量(約600万㎡)予測が丸太は第1位だ。数百年もかかって大きくなった熱帯林や北方林の原生林材を使用すべきでない時期に来ている。
- ③ 「老朽化」等改変で建築廃棄物(約1.5億トン)は2010年以降も大量の廃材が出ると予想され、長寿命化建築物の取組み—自治体キャンペーンが必要だ。
- ④ ウータンも取組みを始めた紙・パルプ問題で、紙等の使用量は50年に比べ95年は36倍になり、海外ではユーカリなど単一林の植林を進む。紙需要へ削減の取組み・PRと単一植林の監視と国際連帯が必要だ。
- ⑤ この4月7～9日に大津で、G8環境相会議が持たれる。また11月、ITTOが「2000年までに持続可能な森林経営実施」と掲げているが、各国で違法伐採で原生林が消滅。これらに停止の申入れを各団体と実施したい。
- ⑥ 21世紀を迎え未来のために環境教育の取組みと「森林とんぶり」の取組み等で行動を目指す時。

## 2. ウータン(個別)活動方針

- ①自治体キャンペーン—[1]a)型枠材総量削減、b)建築抑制、c)維持補修強化、d)建物の省エネ・CO<sub>2</sub>削減化等、e)環境配慮材での設計、f)建物の耐久性強化、g)環境基本計画進捗調査、  
[2]キャンペーン自治体は—高石、泉大津、茨木(?)—6月頃に
- ②国際的な森林問題キャンペーン—a)WTO問題、b)紙と植林問題、c)4月7～9日G8環境相申入れ  
d)11月のITTOへ「熱帯原生林保護」共同声明、e)夏の全国会議呼びかけ
- ③林業地との関わり—a)10周年枝打族、b)三沢さんや国産材住宅推進協会等の建物見学
- ④調査企画—[1]海外調査→今後実施したい、  
[2]紙とCO<sub>2</sub>関連—a)紙はウータン会員にも調査協力求む、b)CO<sub>2</sub>と植林問題は、JATANや熱帯林きょうと等と連携し、紙問題中心の調査・発表(12月)?  
[3]a)熱帯材の調査、b)針葉樹材の調査、c)各国の森林破壊問題、d)環境先進国の政策調査についてはインターネット利用・翻訳への依頼、新聞等での資料チェックなど
- ⑤事務局メンバーと会員の拡大—a)入門セミナー「森林とんぶり」5回、b)ハイキング、c)ウータン・パンフでPRや参加型プログラムの実践を、
- ⑥広報・宣伝—a)ウータン・リーフレット第3版作成、b)家具パンフ第2版作成、c)通信ウータンは今森林保全へ実践している例、森林問題だけでなく新しく問題点になる例を寄稿?
- ⑦物品販売・出前講座—a)販売は99年強化を、b)出前は強化できるか? c)猪俣氏の原稿企画検討中
- ⑧環境教育—a)授業用スライド2種作成、b)調査活動、c)講演会の開催
- ⑨中・長期計画の策定—21世紀を迎え大イベント多し、年途中に計画

### 3/4 WTO 説明会 林野庁「林産物貿易は環境など多面的機能拡大を目指す」と(速報)

(文責・西岡)

3月4日、大阪市の港区民センターでWTO問題の説明会・交渉がもたれた。外務省から井原・経済局国際機関第一課長、農水省は針原・国際局国際経済課長、林野庁は堀・木材流通課長補佐、水産庁は長尾・水産流通課調整官、通産省は貴田通商政策局国際経済部国際経済課係長で計5名。WTO(世界貿易機関)の関税引下げがされれば、木材輸入量が増え、大量消費が増えるのだ。

#### 【外務省はWTO強化の方針】

外務省・井原課長は次のような説明をした。

「シアトル会議以降、WTOの進め方について次のような議論がされている。2月7日のジュネーブの一般理事会で、新ラウンドの早期立ち上げとして、本年から交渉予定の農業、サービス交渉の進め方が決定された。ムーア事務局長は、WTOの〔当面の重点事項〕として後発途上国支援、技術協力、経過期間、WTO機能強化を提案。2月18日から河野外相が訪米し米国代表らと会談し、提案に合意。今後の取組みは、a)小淵首相が後発途上国からの輸入について、無関税・無枠の特恵待遇を実質的に全ての産品に供与、実施するとのイニシアティブを主要国参加を得て推進(ミャンマーの密伐採の木材を無税とするか?)、b)技術協力として今後5年で約2500人を対象とした人材育成支援、c)WTOの機能強化として透明性、効率性があげられる」。

#### 【農水、林野は環境面も重視すべきと発言】

林野庁・堀課長補佐は、「林産物貿易問題でWTOシアトル会議では、多面的機能(環境・安全性・資源等)の主張は日本、韓国、EU、スイス、ノルウェーだけだった。今後は途上国のインド、タイ、ドミニカや東欧諸国に多面的機能などを訴える」。

農林水産省の針原課長は、「当省は地球規模の環境・資源問題の観点から考え、農政は多面的機能を有することを考慮して、今後のWTOにあたりたい。またEUをはじめ“多面的機能フレンズ”と連携し、同様の立場の国、NGOと連携する」。

また水産庁・長尾調整官は、「これからは持続可能な漁業ができるか心配だ。日本も加担しているが、乱獲・過剰捕獲で水産資源が危うい。食生活の変化もあり自給率が57%。エビ、マグロ等乱獲もあり、考える時期だ。林野庁さんのように自由貿易に反対するという立場を取れないが、私見では、このままの自由主義ではダメと思っている。」

通産省は、WTO環境面に何も触れなかった。

\*・\*・\*・\*・\*

今後、国際社会で環境面など多面的機能重視は重要だ。本日、漁業組合も参加しており、今度は日本の林業組合、自然住宅の団体、消費者団体等との連携が急務で、海外NGOとの連携も必要だ。

参加40名以上で説明後、神田浩史IACOD事務局長、AMネットの川上豊幸さんらが質問。

【問】「WTO強化はふにおちない。国際会議の中でNGOの中では、シアトルの会議は我々の勝利だと言う団体もいた。WTO機能強化はやめるべきでないか?」

【答】WTOも含め国際社会のルールは、いい【外務】加減で矛盾をはらんでいる。WTOも環境、人権などいっぱい考慮する必要もあるだろうが、例えば環境問題なら環境で国家間の約束が先に必要だ。私見だがWTOはまだ未成熟で、シアトル会議はパシェフスキー通商部代表の運営が悪かったと思う。」

【問】「WTOは密室審議だ。途上国が会議に入れなかった。NGOも入れなかった。改善をなぜしないのか?」

【答】「参加国が増え135ヶ国になり、みんな【外務】に説明は一度に出来ないだろう。だから米国代表部やムーア事務局長が一部の国の代表のみと話し合いを持つ形となった。米国代表部はもっと説明すべきだった。日本は、本日の説明のように資料公開が前向きだ。途上国は後向きの国が多い。」

【問】「日本は現在の立場も環境面など多面的機能重視の方向を取るか?」

【答】「WTOに多面的機能は重要な要因と考【農政・林野】えている。これを上げた。」

【問】「米国やEUでは林産物輸入について、国内外・域内のアセスメントを実施した。日本はアセスの検討をしているのか。」

【答】「アセスを実施方向で検討している。た【林野】だし予算はまだついてない。」

【問】「交渉で、環境保全面を考え関税を下げるのではなく上げるなど適正税率にすべき。」

【答】「法的に、あるものの関税を下げる替わ【農政】りに他の税率を上げることは可能だ。」【林野】「オフレコやけど我々も林産物の税率を上げることも考えたが合意はムリ。賛成は韓国のみ133ヶ国に反対される。」

## 世界の森林問題ニュース

### 【I F Fから国連森林フォーラムへ改組】

1月31日から2月11日までニューヨークで、I F F(森林に関する政府間フォーラム)の最終回が開催された。今回、森林問題に関する「国際的な取決め・メカニズム」等について検討され、今年4月からのC S D(国連持続可能な開発委員会)に提出するまとめがされた。

報告案は、①国連に新たな国連森林フォーラム(U N F F)を設立し各国等の取組みの調整等の実施、②各国等の取組みの進捗状況評価により、5年以内に森林に関する法的拘束力をもつ文書の作成等の提案が盛り込まれた。

またI F Fは「途上国で90年から5年間で6500万haの森が消失。世界の林産物貿易は97年に1350億ドルで、貿易量はますます増加」と発表。世銀の計画も世界の森に危害を与えたと。

まず違法伐採を許さない体制を取ることか。広い原生林への厳しい保護も実施できねば、これらの原生林は守れない。

### 【「2020年には世界の森の危機」、と世銀等発表】

昨年12月、世界銀行とWWFはインドネシア、ブラジル、ロシア等森林の多い10ヶ国を対象に森林破壊実態調査した。その結果、23%で破壊が進行。破壊はないが将来不安の状況の地域が6割。「将来も安全な森はたった1%」と発表。

### 【グリーンピースら、アマゾンで違法伐採摘発】

昨年12月、グリーンピースが記者発表。アマゾンで違法伐採を続けていた永大産業の子会社の不法を見つけ、ブラジル環境天然資源院(I B A M A)に通報。I B A M Aとグリーンピースは、止めたトラックが林産物通行許可書を持っていないことで、会社へ追跡調査実施。違法伐採が判明し、環境犯罪法によって約1800ドルの罰金を課した。

なおブラジル政府は、8割近くが多国籍企業により違法伐採されていると、認めていた。今まで違法伐採を摘発するのは困難だった。この快挙は喜ばしく、勇気を与えるものだ。「違法伐採は断じて許さない」という他の事例もを、I T T O(世界熱帯木材機関)に伝えたいものだ。

\*永大産業は大阪にある会社。一端倒産した後、自主運営。以前からブラジル・アマゾンで違法伐採し、儲けていたとのことだ。

### 【インドネシアで毎年150万ha森林破壊さる】

過去のインドネシア政府は、「永久保護林が4900万ha、持続可能な森林が6300万haある」と言明し、森林破壊の詳しい調査を実施しなかった。しかし、97年のランドサットの調査で、インドネシア林業省は「12年間でカリマンタン、スマトラ、スラウェシで1700万ha以上の森林減少をある」と認めた。

ハビビ政権の末期にできた新森林法もザルで、インドネシアでは、毎年150万haの森林破壊がされ、今も続いているとのことだ。

### 【植林は地球温暖化を加速、とI P C Cが表明】

ニュース・サイエンティスト紙は、I P C C(気候変動に関する政府間パネル)の吸収源特別レポートの概要では、植林によって固定された炭素が温度の上昇で呼吸作用の増加により、大半が大気中に戻る。吸収効果は少なく、相当分が後から土壌等から分解排出されるためだ、とのことである。

つまり、植林は温暖化を食い止める役に立たず、先進国等の二酸化炭素排出削減しなければ温暖化防止につながらない、ということだ。

(元J A T A N小倉正さんのメールで、有難う！)

詳細は<http://www.newscientist.com/ns/>へ  
【転載ごめん！重要なので皆に知らせたい】

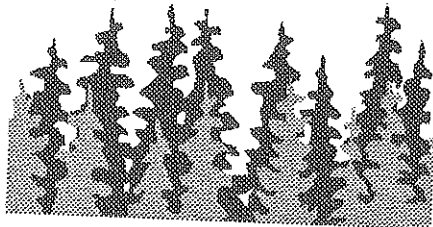
### 【東電、豪州で4万haの地で排出権取引目論む】

サラワク・キャンペーン・委員会のBTさん、また小倉さんらのメールからで紹介する。

東電は、オーストラリアのニューサウスウェルズ州で、二酸化炭素吸収問題の排出権取引を目論んで、4万haの森林を買い占めた。現地のNGOが反対しているが、州は許可したとのことだ。

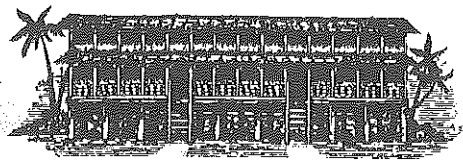
まず日本で原発によらず、CO<sub>2</sub>を減らす努力をすべきだ。なんで買占めをするんや。

(皆さんありがと/文責・西風)



# 9年ぶりのサラワクへ

SARAWAK



(その3) 奥地へ延びる伐採

東 悪男

## 《インドネシア国境に続く伐採道路》

夕方から雨が降りだした。ドゴゴオっと、屋根をつんぞく。スコールだ。蝶のようにきれいな蛾や緑色の蟬も家の中に舞い込む。

ところが1時間経っても、2時間たっても雨は止まない。日が沈んでから夜半までずっと雨で、私たちはガラ一家と団欒して過ごした。

私にとっては予定変更だった。ニュー・ロング・ガン村の最後の晩には、村人の話を聞こうと思っていたから。この雨では難しい。

「明日、新移住区の村へ行けるかなあ。どんな気持ちで移住したのか知りたい」と私たちはガラ・ジャロンに聞く。

「ずっと朝まで雨が降れば、道がぬかるんでダメだろう。まちまでは何とか帰れると思うが...。」とガラ。

この村は、サラワク州のかなり奥地にあり、近辺でも伐採が進んでいる。村から見える稜線の一部は、伐採が行われて土砂崩れを起こしていた。

来村する時に何台も、いや何十台もの伐採木を積んだダンプカーとすれちがった。ラジャン川、バラム川下流の貯木場に運ばれる多くの細い木材とは違う。ダンプカーが運ぶ木材は、直径が2メートル近いものもある。晴天時には百台近くのダンプカーが貯木場へ運ぶと言う。伐採は、どんどん奥地へと延びて行ってるのだ。

昨日、ガラに聞くと「インドネシアとの国境近くまで伐採している」と言うことだった。

「この地域で伐採しているのはサムリン・ティンバー、シンヤン・ティンバー、リンブナン・ヒジャウ社が主だなあ。彼等は俺たちの目を盗んで、いつの間にか伐採している。余りにも伐採がひどいので、俺たちは以前道路封鎖したのさ」と、加える。

それに対して私が「リンブナン社は、マレーシアの伐採以外にパプア・ニューギニア、アマゾン、最近はロシアまで伐採しようとしてる」というと、彼は眼をむいて驚いていた。

11年前、初めてサラワクに来た1988年のことを思い出した。その時、バラム川中流にある町マルディの地球の友マレーシアの事務所を私は訪れた。運良く、地区代表のハリソン・ガウとも会うことが出来た。

「すでに伐採企業は、サラワク州の8割近くの伐採権を得ただろう。独立前もともと森林もほとんどが、我々の土地だった。

森林法や土地法の改悪が次々とされた。先住民は“権利証書”を持たない限り、我々の土地と認められなくなった。改悪の例は1974年土地法が、“公共の目的あるいは土地譲渡を促進させるなら、担当大臣が慣習的権利を消滅させることが出来る”というものだ。87年森林法改悪は、“伐採道路を封鎖したものは逮捕か、多額の弁償しなければならない”と。

伐採は奥地化して、道路はインドネシア国境まで進みつつある。」とハリソン・ガウが言っていたのだった。

あの時は本当かなあと思った。だが今、現実となっている。サラワクは伐採が州財源なのだ。ただ同然で採れる木。それを輸出用とする。大臣・官僚と伐採企業がほとんど癒着している。例えば環境資源大臣の兄弟が伐採会社のオーナーであるように。

1970年の森林ロイヤルティと輸出税は、州の財源の34%だった。その後80年代はロイヤルティ(伐採権料)が4割強を占める。98年でも州財源の51%を木材産業から得ている。だから、伐採は不可避なのだろうか。一方でぬくぬくと肥え太る大臣たち、他方人々は過酷な労働を強いられ、先住民の森と生活を壊している。そればかりか、お互い繋がり合っていた先住民の社会や生活をも破壊している。

伐採企業のオーナー華僑と先住民とは違いすぎる。生活や考え方も。だから、安易に巨額の金を稼げる伐採なのか!?

夜中、一段と雨が激しくなって目が覚めた。

私は、一昨日の晩にガラが新移住区の人々について言ったことをふと思い出した。

「戻ってくるなら、いつでもいいよ。このタ克蘭に来ていいさ。本当は、バクン・ダム計画が止まり、元のロング・ガンが良いと長老もみんな思っている。俺たちが考えてない、望んでない開発が人々を離れ離れにしているんだ。」  
雨は朝まで降るのだろうか...

#### 《いつかロング・ガンへ行きたい》

「今日、帰れるのかなあ。無理かもしれんね。どっちにしろ、新移住区へは行かれへんだろうね」と、私は峠さんに尋きかけた。彼は「ガラと天気ませだよ」と返答する。まだ、雨足がひどいのだ。

起きてから3時間が経ち、9時前に小止みとなった。村の前のぬかるみの道路を、伐採木を積んだダンプカーがゆっくり通る音がした。

ガラは中古トラックのキーを掴んで、玄関へ戻ってきていた。「出発だ！」

トラックは次々と多くの村人を乗せていく。峠さんは後の荷台で2人と親しそうにしゃべっている。雨はほとんど止んだ。

霧と雲が湧き、遠くにあちこち切られている原生林が見える。深緑にそまった森林が痛ましい。多くの生物の生命があちこちで奪われているのだ。ガラも他の先住民も知らぬ間に、伐採がされている。バクン・ダム計画もそうだったのだ。私は無意識に拳を握りしめていた。

アップ・ダウンの激しい伐採道路なのに、ガラは車のスピードをあげる。ケニヤ人の村を越えてから道の脇に、伐採木を積んだトラックが何台も止まっていた。トラックは重量が重くてぬかるみの伐採道路では危険だからだろう。

新移住区への分岐を過ぎて、次々と村人が降りていく。親戚や兄弟が住む新移住区へ行く人、シブの町へと行く人たちだ。

しばらく走ると、一部舗装された道となった。「これがバクン・ニュー道路だ。伐採用トラックはほとんどないが、雨の日は通る。ダム工事は中断しているが、道路工事はなぜか中断していない。誰がこの費用を出しているのか」と、ガラは補助席の私に言う。

ニュー道路を車はさらに加速して走る。あち

#### ▼サラワクでの押し出し工法による伐採作業



こちで伐採道路と合流する。このあたりには森が見えない。既に切り倒され、そのまま放置されたのだろう。そんな景色がずっと続いた。

私は補助席で少しウトウトと寝ていた。道路工事用のトレーラーの唸る音で目が覚める。もう雨雲もなく、晴れわたっていた。後部の荷物台にいる峠さんと補助席を替わる。

高床式のイバン人の家々を通過していく。車はどうとう川岸までやって来た。工事途中の橋が見える。バクン・ダムからピンツルへと通す橋だったのだ。

別れの時が来た。ガラとも当分会えないだろう。ガラは、以前他国で開かれたNGO会議に出席するため、空港でパスポートを取上げられ、外国へ行けないからだ。私もロング・ガンに行く機会があるかどうかわからないから。

エクスプレス・ボートから私たちは、両手をあげて大きく手を振る。ガラの姿が豆つぶの大きさになるまで手を振り続けた。

(終り)

後日談。私たちがサラワクに行っていた頃、ブナン人と6年ほど暮らしたブルーノ・マンサが伐採抗議でサラワクのクチンへ来ていた。



# 国産材を訪ねて

## 「奈良県宇陀郡室生村」

永田 健一

寒い日が続いた2月中旬の16日、ウータンでも色々世話になっている建築家の三澤康彦、文子さんと奈良県の室生村へ行って来た。

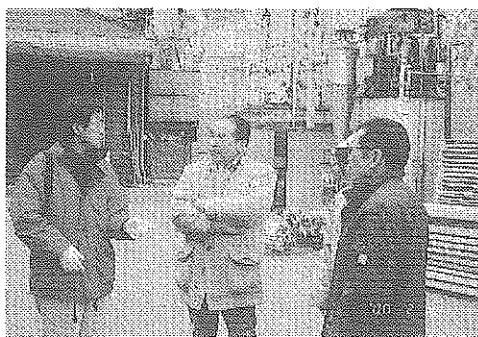
大阪から西名阪自動車道を走り針インターを出て15分ぐらいで室生村森林組合事務所へ着く。混んでなければ車で1時間半程の道のりである。

今回三澤さんが訪れたのは、室生森林組合からの依頼(室生の杉を使ったモデルハウスの設計)と杉の山を見ること、現在注文している材の含水率のチェックであった。

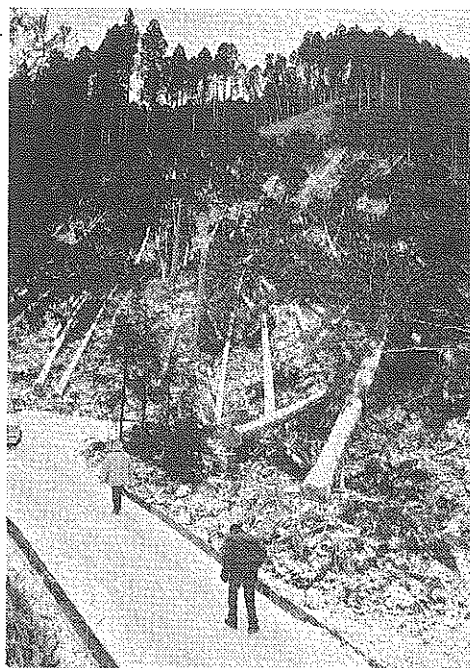
森林組合の事務所(ログ風)の横は、今はガレージ用のと思われる材が多く積まれている。

出向かえていただいたのは専務理事の坂本さん。

奈良県の森林組合は29あり、室生村森林組合は24名で一番人数が多く、又現場作業員(5~6名)の平均

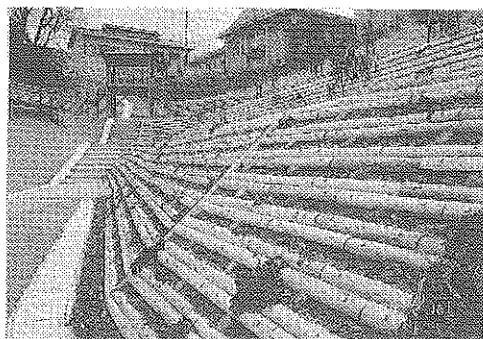


▲丸木加工場にて(左から)三澤さん、組合長の石田さん、専務の坂本さん。



伐採後、葉枯らし中の現場(80年の杉材)

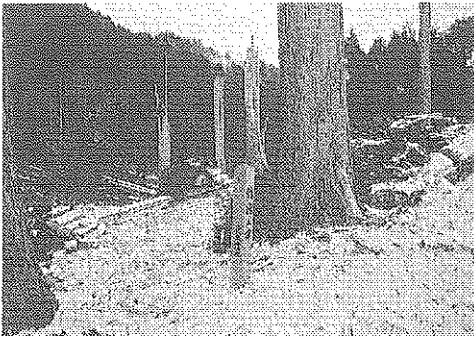
年齢はなんと30才だというからオドロキ!  
10時30分頃から坂本さんの車で杉山に向かう。途中、住宅地の横の公園(地元の材を使った遊具)を森林組合がやられたと説明をうける。



伐採材を使った土止め

林道に入ると昨日降った雪がしっぺり積もっており、ゆっくりと上っていく。標高300mぐらいのところに伐採現場があった。道の右側の斜面に葉枯しを行なっている杉、80年生があった。反対側の斜面の杉は昨年9月の台風(風速60m)でこぼれ落ちてしまっている。





▲ 細合長石田さんの山、80年以上の杉が途中でポツリとあれてしまった。

台風のと、今上ってきた道も倒木でチェーンで切りながら上ってこれなつたにとうである。石田さんは先祖からの杉が倒されたことに申し訳ないと残った杉の向に「鎮魂之碑」を立てる。

他の産地でもよくみかけるが室生村でも手入れがゆきとどかない暗い杉林(間伐されていない林)を見られた。

室生村の植林は密植(1ha 5~6000本)で間伐はさせない。

昼食の時 細合長の石田さんと合流。

午後は天然乾燥(さんぐみをした天日干し)をしている木場へ。この場所はログハウス用丸太を加工しているところでもある。

巨大な旋盤といったところか? 杉皮を削り同じ径にする加工である。

三澤さんらは乾燥中の杉材の含水率をチェックしている。

今回初めて室生村の杉材を使い住宅を建てるため 入念な打合せとチェックが必要だということ。これまで三澤さんは徳島の木頭杉、丹波の杉、大分の津江杉、川上村の吉野杉などを産直で

入れ住宅を建てて来ている。

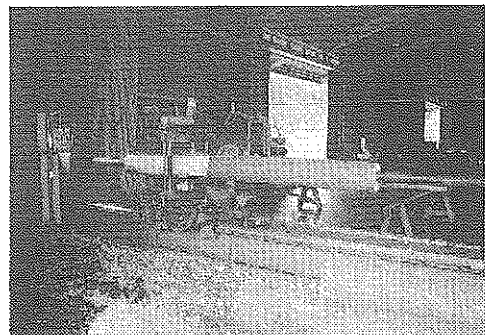
とくに室生村の杉も今回初めて入ることになる。三澤さんがいつも口にする「品質が第一です。」と……

材の色、艶もあるが含水率が大きく関わっている。含水率というのはごまんののように木に含まれている水分のことで、伐採時には200%(スポンジに水をつけてボタボタと水がこぼれるようなもの)。山で葉枯らし(山側に倒し葉をつけたまま2~3ヶ月放置)で80%、製材、ごみ積み乾燥、及び人工乾燥で30%、大工さんの削み加工時で20%ぐらいが乾燥の流れという。

含水の良し悪しは家を建てる時のぞり、ねじれ、割れ、金物のさび、カビ、虫くいの原因となってくる。

一般の流通では、材の管理4エックがされていないため……というよりか経済的により立たないので市場にボタボタの材が出回ることになっている。

国産材が外材に立ち向かうには、これから先も山側の積極的な努力と国産材を押し進める建築家とによりも家を建てようとする施主の意識の改革、勉強会が必要となってくるでしょう。又、山へ行きます。では、㊦



▲ ログ用丸太加工機で削る。最長6mまで削れる。

◆ちょっとよくなった記事のせまいた。

健康建材商品が相変わらず  
ず関心を集めているが、エ材、壁紙、塗料、調湿材、  
二建材や設備四  
百品目を集めた  
図書「住まいの  
エゴ建材・設備  
ガイド」が発刊  
された。発刊したのは、季  
刊誌「チルチン」びと「や  
「まちの雑誌」を発行して  
いる風土社で、九九年版を  
大幅に拡充したもの。

新刊紹介

載取製品は、屋根材、床  
住居認定制度、住宅性能表  
示制度、完成保証制度など  
についての解説  
版もついで  
る。B6判、四  
百十四頁、二  
千八百円（消費税  
別添）。問い合わせ、申し  
込みは同社（電話）〇三―  
五五五、〇三―五五五、FAX  
〇三―五二〇八―九三三  
ドイッのエゴロジー住宅事  
九）まで。

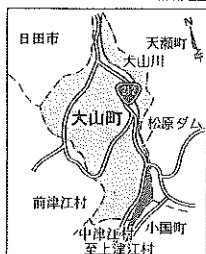
住まいの「エゴ」建材設備

風土社

●新聞整理袋すべて紙製  
に、新聞業界、古紙回収業  
界、製紙メーカーや東京都  
など7都府県市でつくる「新  
聞リサイクル推進会議」は  
16日、新聞販売店が配布し  
ている新聞整理袋を紙製に  
変えることを決めた。  
整理袋は大手新聞6社の  
東京本社管内だけで、毎月  
約1415万枚が配られて  
いる。一部にビニール製の  
ものがあり、回収再生業務  
に支障をきたしていた。  
また、通販のビニール製  
封筒が紙に混在して捨  
てられることが多く、通販  
業界に「紙といっしょに回  
収できない」などの表示を  
求めることも決めた。

古い建物の骨組みや柱、  
床板などを活用し、外観や  
用途のまったく異なる建築  
物に建て替える「リファイ  
ン建築研究会」が、全国で  
初めて大分市で発足した。  
「リファイ  
ン建築」は大分市  
の建築家、青木  
茂さん(61)の造  
り。既存の建物  
をいったん基礎  
まで建て替える中、大分県野  
津原町の母子セン  
ター(1970年  
完成)の見学もあった。  
青木さんが山村開発セン  
ターを建て替えた大分県宇  
目町役場庁舎は昨秋、日本  
産業デザイン振興会のグ  
ッドデザイン賞を受賞してい  
る。工費は新築の半額以下  
の約4億円だった。青木さ  
んは今後は勉強会を重ね、  
リファイン建築を学問的に  
も成立させたい」と話して  
いる。  
〔三嶋祐一郎〕

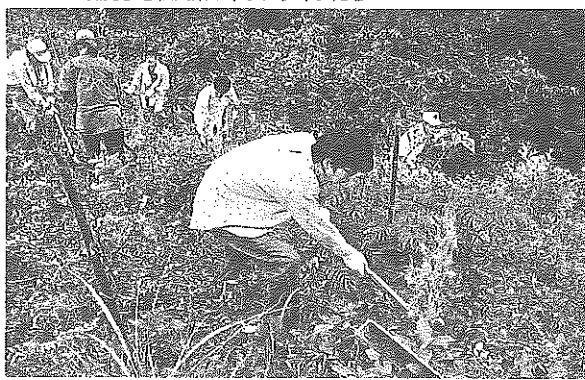
新聞本日は



「ウメ、クリ植えてハワイへ行こう」のキャ  
ッチフレーズで知られ、大分県の一村一品運動  
をリードしてきた同県日田郡大山町が、「水源  
林整備基金」を平成11年3月に創設した。山の  
疲弊を懸念し、維持のために森林の持つ水源涵  
養(かんよう)機能に着目。町内だけでなく、  
上流から下流までの流域全体に、水源林の保全  
へ協力を求めるのが特徴だ。人口約4100人の山  
あいの町が、新たな手法で将来を見据えながら、  
山の復興に動き出した。  
(地方部・山本 晃)

(第3種郵便物認可)

大山町が町内山林を進める「100年の森づくり事業」に協力する福岡県のボランティアたち



流域全体巻き込む

「基金」創設 水源林を守る

大分・大山町 山の復興に新手法

阿蘇郡小国町と真境を接する  
大山町は、面積の約八割は森林  
(約四十五%)で、そのうち  
スギやヒノキなどの人工林が七  
四・七(七割)を占める。特に  
下流域住民の水の安定供給に  
資する町内水源地の健全性を  
確保するに、基金への協力を  
促す有力な説得材料になる。町が  
基金創設に踏み切った、もう  
一つの理由は、荒れを放置した  
ままの状態をみ出した。一方、  
人口が集中する下流域の福岡  
市から水要量は、町を流れる  
大山川など筑後川上流域から  
供給量を越えつつある。このた  
り下流域も、上流域とともに水  
源林への保護を共有でき、そ  
の受け皿として、十一月十二  
日に基金が創設された。  
当面の目標として、伐採ま  
の期間を五十五年以上とし、  
五杉以上

の大規模伐採禁止も掲げた。実  
現へ向けて、基金で水源林の整  
備計画を策定し、水源涵養機能  
の増進事業や水源林の取得など  
に乗り出す計画だ。町は三月ま  
でに流域全体の代表者で基金を  
運用する委員会を立ち上げ、  
四月から町外にも基金への拠出  
を求めると、本格的な活動を開  
始する。今は最終調整の段階だ  
が、下流域の福岡市やNPO団  
体筑後川流域連携推進部「は  
かた夢松原の会」などは既に理  
解を示しているという。  
基金の創設に際しては、何と  
いっても財源の確保が第一。町  
は、国が十年度から国土保全対  
策で地方に財政支援(総額二千  
百億円)を始めたことに目を付  
けた。町へ普通交付税で交付さ  
れる国土保全対策費(九百二十  
万八千円)の一部、五百万円を  
初年度の基金原資として確保し  
たのだ。  
国の地方支援には、基金原資  
に利用した①普通交付税措置の  
ほか、②下流域の自治体が、上  
流の協議で水源維持などのた  
めに負担する経費への特別交付  
税措置③公営的機能や水源涵養  
機能の維持増進のための起債措  
置(地域総合整備事業費)④が  
ある。特に①の特別交付税措置  
は、基金の目的(一町内や筑後川  
四・七七(七割)を占める。基金  
創設の背景には、下流域住民の  
水の安定供給に資する町内水  
源地の健全性を確保するに、基  
金への協力を促す有力な説得材  
料になる。町が基金創設に踏み  
切った、もう一つの理由は、荒  
れを放置したままの状態をみ出  
した。一方、人口が集中する下  
流域の福岡市から水要量は、町  
を流れる大山川など筑後川上流  
域から供給量を越えつつある。  
このたり下流域も、上流域と  
ともに水源林への保護を共有  
でき、その受け皿として、十一  
月十二日に基金が創設された。  
当面の目標として、伐採ま  
の期間を五十五年以上とし、  
五杉以上

# エコツアー体験記 最終回

## COSTA RICA

記: あ-むらじゆん

① 子供たちの永遠の多雨林とも呼ばれるモンテバルデ  
雲霧林保護区では 25歳より Valued Member  
にいただけます。お問い合わせ先: Friends of the  
Monteverde Cloud Forest  
1601 W. 5th Avenue, Suite 108 Columbus,  
OHIO 43212-2302 USA

### ② モンテバルデの心地よい夜 (9.3.24)

子供の心がかおみかえって、ワクワク、楽しいモンテバルデ自然保護区のカイツアー(夜の自然観察会)のあと、ベッドに横たわると 頭上の窓から、不立のシルエットの間に無数の光輝く星たちがみえた。木と風の語りうさをきいているうちに 安心してぐらぐら ねむることばかり。こゝを快眠。健康の源。そういえば、以前 アニマルウォッチに行った 自由国立公園での 寝ることに 夢を思ひ出す。観察小屋でカモシカの親子の姿をほほえましく 双眼鏡でみせてもらったあと、小屋の方に ツキノワグマの親子も ぞろぞろ出てくることである”と 知らされた。春には毎年 親子のツキノワグマを 決まった数、馬巴除(=殺害)して、こゝをよさげ馬巴除とかいうらしい)していると言われ、困ってしまった。保護すべき 野生動物をばせ? 親子のグマは 危険だからという理由で、おどろきも起こさなければ、長い冬眠から おぼかさをかき出さず、生きていくには 生きることと 奪われること。親が子を 守ろうとするのは 当然で、人間がルールを守り、危険を回避する方法をとるべきではないだろうか。それを知恵から 持ち合わせていまいと、人間は、食べ物のために 殺しては、単なる 殺りくの せうまの 動物に してしまおうではないか。日本、日本の国立公園、何のためにあるのだろうか。どうも 居心地悪く、その夜は よく ねむることができなかった。

### ③ モンテバルデ自然保護区のカイツアーで ケツアルと再会 (3.25)

昨夜の快眠のあ陰であまり、体と心がうるまって、元氣一杯、霧のモンテバルデ保護区へ向かう。アム(不造)から、可成りしたトレイルの途中、ケツアルが ぼんぼん 飛ぶ木の周地には、あついで、何人もの人々の 静かな 輪が つくられていた。みんなが 又 双眼鏡を みる方をよくみると、霧にかすんで、箱に、あつ、いる! いる! シェネヌエで 出会った 時より、ひと回り大きくなった ケツアルが、体は、ハト並で、グリンの美しい産科を入ると、1m 近くになる。ケツアルの場合、通して自然が ぼんぼん 飛んでいても、ヒナが 成鳥になるのは、4週間以上、下り、ケツアルが 昔の様に、数をとり戻すために、多くの 祭りが 必要だ。その 祭りとは、何かを さらりと 音で、保護対策が とられているから、私達の目の前に、その 美しい 姿を 現わしてくれているのだから、と思う。逆に、いよいよ、保護対策を とらなければ、生きていけなくなる、現実があるわけだから、



カイツアーについて 森の生態系のレクチャーを受ける。  
霧で体がぬれるので、雨具は必需品。

ケツアルホル：葉にあいた穴から、下の葉へ光があたると、よく見えている。

### ④ 森では自分の五感を全開にしよう

森のトレイルを歩くと、人から動物に、五感を全開にしよう。静かに、じつと、ひとりに、ひとり、自然に、生きものの、動きが、感じられる。羽音が、木の葉が、ひびく音がある。その音に、視線を、動かすと、あー、ツーカーン(オオシ)だ。という具合に、自分自身の、発見が、あつ、旅は、とても、身近になる。自分の、時間をもつ、ことも、大切だ。



ハミングバードの巣

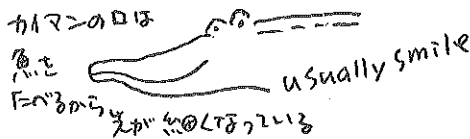


モンテベルデスからウオーク入口に現れた、エサをよびたるハナクマ。目撃者は驚くことが鳥の事ではない。

① ひらりん流 ネイチャーガイドと仲良くする法 (1993.26)

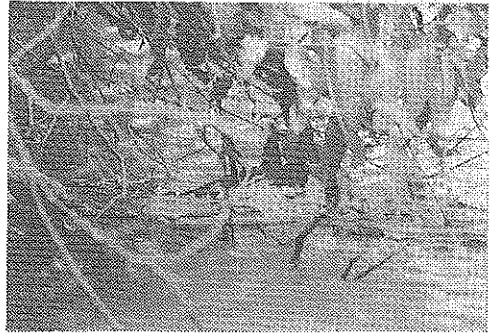
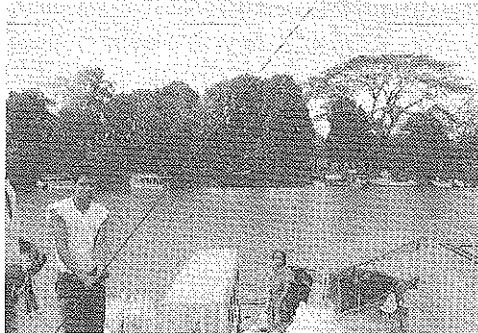
コスタリカツアーのしくくりは、カニョ・ネグロ国立野生保護区だ。カニョ・ネグロは月へ流れるフリネ川の舟着き場は、ボトウツツクガの落し、ロステレスリニカラグアのサンカルロスへむかう人々にきわまっている。

舟にのりこんでみる。リトルブルーヘロン(カワウ)が流木にとまって、羽をひろげているのが見え、岸辺の木に白い大きな花が咲いているのを見て、アマリギの群集を見た。岸辺にはランの花が咲き、アエザルが、木々をゆっくり移動していく。次々と現れる生き物の名。アエザルは手で赤ちゃんとあつめようとしていた”とか、キングフィッシャー(カワセミ)はコスタリカにいるのが最大種だ”とか、アエザルと何語かしてくれる。ガイドのウオルターは、”セバ”という木にとまっているのは、北米から渡ってきたコウノトリで、森にはとても重要な鳥なんだ”という。木の葉をたべ、葉や枝をくい木態にたつたタネが、フンで遠くへ運ばれて芽を出す。木を植えてくれる大鳥は鳥なんだ”と。フィルムが切れてしまった私は、半信半疑に下岸へイラストでおいたものをメモして、カタコト英語で質問をこぼしてりと、ジョークらしい。



◁ メモの一部。ウオルターは私のメモを見て、ニヤニヤしてから、私の名前をよく。そして、ヒロコはカイマンがせうきの子か、とまくの正か。私は、カイマンを近くでみて感涙あはしていたが

ほんとは、ほ乳類が大好きで、ナマケモノでもかみちるとうれいと思ってるのだが、英語力がたかく、口から出た言葉は”イエス”のみ。やがと、そのおかげで”じゃ、今度はカイマンの赤ちゃんとあつめさせるよ”というてくれた。そして舟を移動させ、エンジンを切ってソロソロと進むと、舟のへきで、こへ乗るという。そこから、みろというその方向に、千七ツツカイマンが、いっせいに、水面より目を出しているではないか。そして、假子かみちに説明がある。以前、あつりかゆい、赤ちゃんとあつめたい、ついで観光客の人が、舟を出してしまふ。近くにたかゆい、カイマンは、バクリかゆい、かゆい、かゆい、(こは、初めから、リットに入っていたのか、は、は、)。カイマンは、17ヶ月も子頃の世話をあつめ、唯一の、虫類、海かめの卵と同様、産んだ場所の温度にあり、オス、メスが決定される。(メスは32°F、オスは30°F) 私は、魚しかたべていないかと思つたら、水面を走るバシリスクや、木のしげみか、水面につかひる所、で、待ちかゆい、下りてきたカワチーモンキーも、食べることもあるときき、びっくりしていると、彼いわく、カイマンにとつてカワチーモンキーは、ほくちちか、チキンを食べるのと同じだ”。

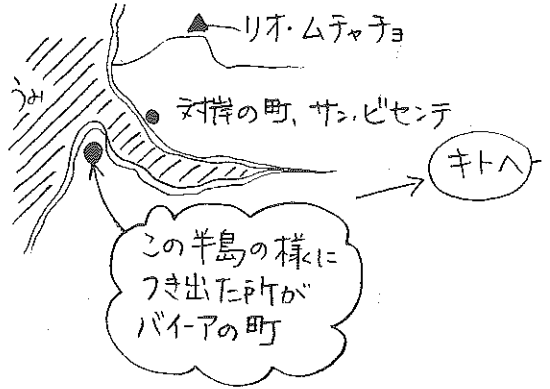




エクアドル日記より

リオ ムチャチョ  
**RIO MUCHACHO**  
 その1週間 6月12日~6月19日  
 にしほら くみこ

バイア付近の超拡大図



エクアドルの山岳地域のロス・セドロスで1ヶ月ボランティアを終えた私は次なるボランティアの地を求めて、海岸地方のバイア・デ・カラケス(以後バイア)へやって来た。

ニュージーランド人のニコラというセの人が旅行会社のオフィスを構え、ボランティアの受け入れ、コーディネートをしているという。首都のキトから夜行バスで10時間、ガタガタ道でよく眠れずボーンとしながら到着したバイアの町は、砂ボコリの多い崩れた建物が目立つ小さな町だった。

1998年夏の大地震と1999年初めのエル・ニニョにやられる前は、ビーチで有名な町だったそうだ。

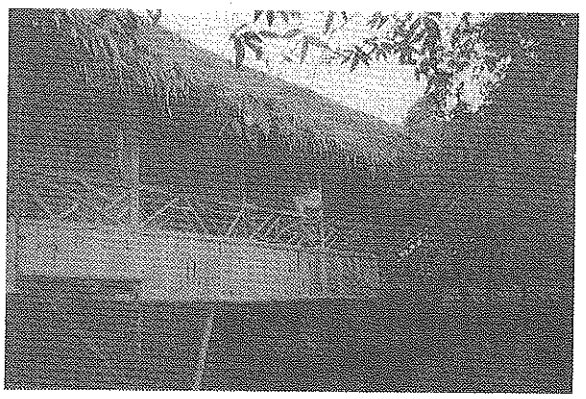
オフィスを訪ね、今後のことを話し合い、まあ、いろいろあって、1週間だけリオ・ムチャチョのタウロファームで働くことになった。あとの3週間はバイアの有機農業試験場でボランティアすることに勝手に命名になった。

連絡先

Guacamayo Bahiatours  
 Tel: (593) 5-690597  
 FAX: (593) 5-691412  
 E-mail: ニコラさんまで。英語 or スパニッシュ  
 ecopapel@ecuadorexplorer.com  
 Nicola Mears さへ

興味ある方は西村までご連絡下さい。ボランティア滞在費は1ヶ月200usドルです。

ファームの家は、主に竹が使われている。屋根はトタンではなくヤシの葉の様なもので履われている。





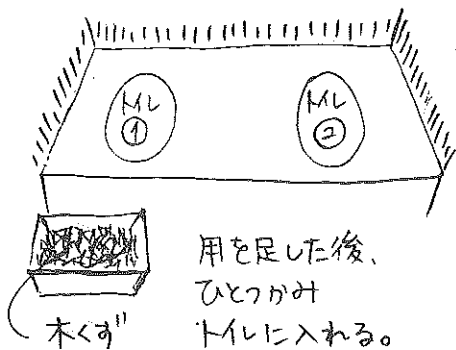
庭には ハーブや、ヤシの木、バナナ、  
レモン、ピーナツ、ユカ芋がどちゃどちゃ。  
ラバと馬と豚と鶏、犬がいる。

洗面やシャワーで使った水は 周囲の  
草木にゆき渡る様にしている。

勿論 土中も通って。



トイレは コンポストにある為 2ヶ所。

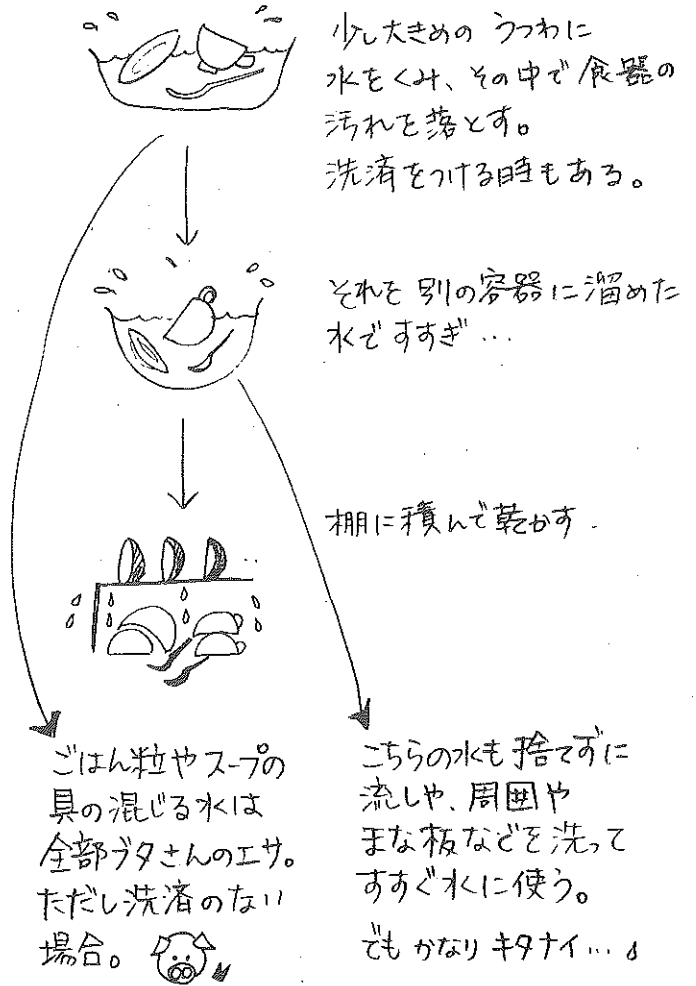


①が一杯になったら ②を使う。  
だいたい 6ヶ月毎に交換  
するそうだ。中身は 肥料に  
するのだが、トイレの裏側から  
取り出せる様になっている。

見てないけど...

雨季には地面が どちゃどちゃの  
ドロドロ。犬と鶏のフン混じり、  
牛や馬のも混じっているはずの  
土で、滑りながら歩いた。

水の確保も大変で、シャワーは川の水だけど、  
飲み水は 井戸水とか 雨水を濾がして  
飲む。  
実際、皿洗いが大変で、日本風には  
なれて洗えない。



少し大きめの うつわに  
水をくみ、その中で 食器の  
汚れを落とす。  
洗剤をつける時もある。

それを 別の容器に溜めた  
水は すぎ...

棚に 積んで 乾かす。

ごはん粒やスープの  
具の混じる水は  
全部ブタさんのエサ。  
ただし洗剤の無い  
場合。🐷

こちらの水も 捨てずに  
流しや、周囲や  
まな板などを洗って  
すぐ水に使う。  
でもかなりキタナイ...

その他、野菜くずなどは 全て ブタさん行き。  
大きく太ったブタはそのうち売られてゆく。  
ずいりりサイクルだ...

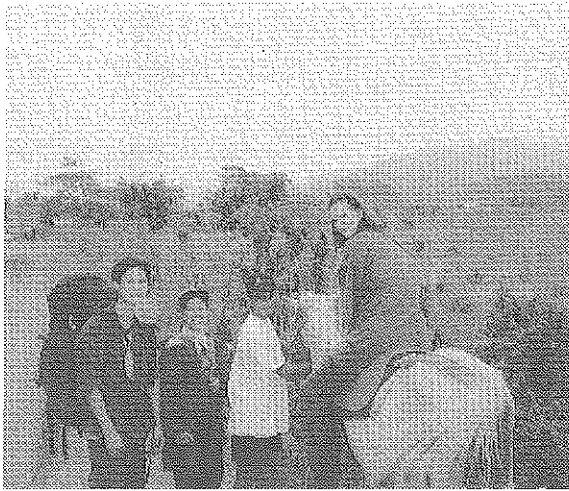
水は やっぱり キレイな水がある 所にはしか  
住めないと思った。この家族は だいたい  
裸足で生活してて、フン混じりの土の上でも  
平気なのだった。確かに いちいち 靴を  
はくのは面倒だった。靴底には ねっとり  
ドロがつくし、滑るし...



そういうことなので、私も裸足になって  
みたらけっこう快適だった。質素な生活  
にはあまり物は要らないんだなあ。  
リオ・ムチャチョでは仕事はあまりなかつた  
けれど、家事手伝いをして生活のくふう  
が見られて参考になった。

リオ・ムチャチョでの生活を終えて、バイアの  
町へ帰る日、やはりとてもうれしかった。  
水が満足に使えない所は、コンタクトを  
必需品としている私にはつらかった。

ボランティアを受け入れている タウロファーム  
から 車道まで 馬で30分~1時間  
なのだが、その道の両側はほとんど  
牧草地や畑ぞ、木というものが  
見あたらない。たいていの民家が  
家畜を飼っており、自転車の様に  
馬を乗りまわしている感じなので、  
かなりの草が必要と思われる。



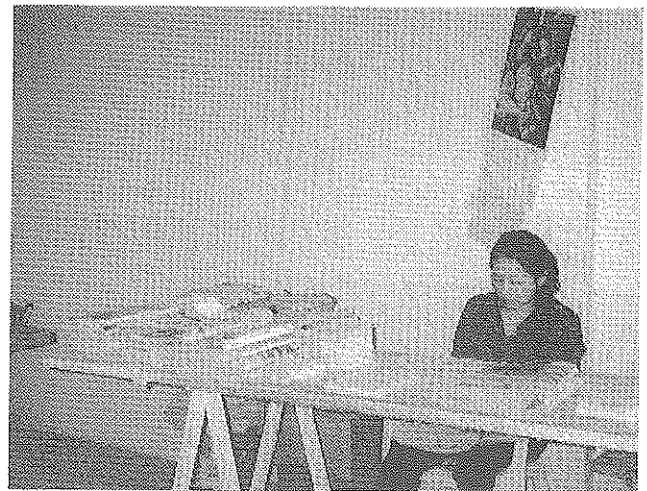
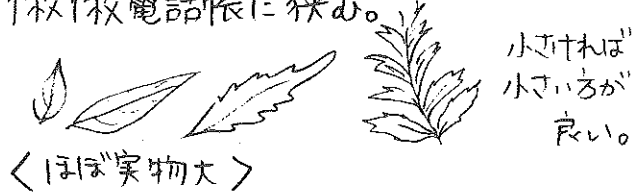
人間用の緑は多いが、“自然”という感じ  
は無い。今、パッションフルーツ（現地で  
マラクヤという果物）が大流行。  
どこの畑でも作っていた。

## ECO-PAPEL エコ・パペル

ニュージーランド人のニコラさんのことを少し  
書かせてもらうと、  
彼女はもう7年もバイアの町に住んでいる。  
子供達の環境教育、ボランティア受け入れ  
などをしているのだが、地元の奥様方と  
協力してリサイクルペーパーを使ったお土産品  
を作ってキトなどに売っている。

紙の原料は古紙。それにバタの葉  
やココナツの葉、木の实などを加えて  
自然の色合いを出してゆく。  
紙を作るまでは男の人の仕事の様だ。  
女の人達は、その紙を草花で飾ること。

まず、家の周りに生えている草や木の葉を7枚、  
1枚1枚電話帳に狭む。



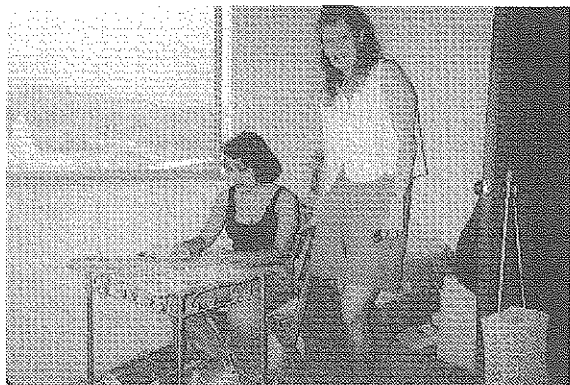
マリーゴールドの花や小さいヒマワリの花も！  
ヒマワリはキトから購入し、ドライフラワーに  
していた。マリーゴールドは所はずれの畑  
に植えてあって、そこでつんでくる。花びら  
1枚1枚ばらして狭む。

そして約2週間、電話帳に挟んだまま乾燥させる。

乾燥した花びらたちは次に、また一枚一枚丁寧に並べられて、奥様方によっていろいろ組み合わせられてのりど帖られてゆく。

けっこう根気の要る仕事で、目・肩・腰が痛くなりそう。

だいたい女の人3人くらいで仕事をしている。



商品は、

名詞・封筒・便せん・  
グリーティングカード・しおり・  
ウェディングカード・ノート大、小・  
葉書・小箱・小袋 など。



何かいいアイデアがあったら教えて下さい。

私は写真立てとかカレンダーとかイイナー、と思っています。

自分の指の太さに削って...



まん中をナイフでぐりぐりして穴を開け、そのまま削ってゆく。



せりりして周りを磨いて指輪のでき上がり!

あと、マテ、という木の実はあるんだけど、スペース無くなったのでまたの機会に! <

現地でもとれる物でお土産げにしているものは他にもあります。

### TAGUA タグア

タグアはとっても固い! のニギリ必要。色は象牙色。

手触りはプラスチック。

タグアは Vegetable Ivory と呼ばれる、野生のヤシの実である。

大きさはまちまちで、私が見たものはグリくらいの大きさのから テニスボールくらいまであった。

現地では ボタンを作るのに使われる。

キトの土産物屋では ハケドリや象やカメの形になって並んでいる。



こんな形。

のニギリで切る。



象牙色。

形を整える様に端をのニギリで切る。

今年もやるでよ～



今年も  
盛りだくさん  
ですー!

## 「森林どんぶり」パートII

もりもり亭

みんなでガンバルにや (こいつどこの人や、バッテン大阪タイ)

このプログラムに参加して環境問題について語り合い、ストレス発散しようぜい。

[森林どんぶりスケジュール (予定) (いずれも第2金曜日)]

5月12日、6月9日、9月8日、10月13日、11月10日、12月8日

場所 アジアボランティアセンター 時間 午後7時

電話 06-6376-3545

どんぶり以外でも様々な企画を予定しています。遊びに来て頂くのもOK、スタッフとして手伝っていただいてもうれしいので、よろしくお願いします。

そんな中、いったいウータンに誰がおるねん、と思っておられる方も多いと思いますので、今回から「毎度おさわがせしていますII」(メンバー紹介)をやります。まず1回目は、昨年秋からウータンの会計をしている、自称「遅咲きの福寿草」藤村さんからいきますヨ。

▲氏名は：藤村はるえ

▲星座は：知りません

▲趣味は：野鳥観察、植物観察

▲ウータンに入ったきっかけは：井下祥子さんに誘われて、だんだん深みにはまって来ました。

▲環境問題のどんな事に関心がありますか：全般的なこと

▲Why?：環境問題はあちら立てればこちらがたたず、というような事もあるので、総合的に考えていきたいと思えます。とはいえ、多くのグループが分担して運動していくことは現実的ですし、「ウータン」会員としては木(紙)を中心に勉強するつもりです。

▲今後やりたいこと(夢)は：やりがいのある仕事(ボランティアでなく)

▲なにか一言お願いします：長く生きてる割に知識も、人脈も、お金も無いので、せめて金庫番だけでもキッチリやります。会員の皆さん、不景気が続きたいへんでしょうが会費はシッカリ納めて下さいね。

▲ありがとうございました。

(川本)

## 1999年度会計報告 (1999年1月～12月)

[収入]		[支出]	
前年度繰越金	277,808	会報製作費	198,450
会費 (138人)	414,000	送料	159,976
カンパ	309,269	事務所家賃	144,000
学習会参加費	20,000	学習会謝礼	45,000
講師派遣謝礼	12,000	他団体への協賛金等	31,000
物品販売	63,450	会場費	35,220
その他	25,118	雑費 (文具、振込み 手数料等)	13,328
計	¥1121,645	計	¥626,974
		来年度へ繰越	¥494,671

(他に切手カンパ 約10万円)

【会費、カンパをいただいた方々】(1999年11月28日から2000年2月28日まで)  
 赤松高明 阿蘇紀史 石上リカ 一鷹要市 伊藤哲男 伊東万千子 井下祥子 上田  
 真弓 大東弘 岡岳彦 越智清光 笠原英俊 春日直樹 鍋木里子 木村久吉 北阪  
 英一 後藤裕己 小林圭二 相良美穂 志儀真由美 高橋敬一 辻垣正彦 苗村真代  
 永田展雄 中村義明 西村輝男 畑章夫 伴正巳 平野誠 福田敦 伏見将司 藤村  
 はるえ 二木洋子 南俊二 麦島きみ子 明周正和 山川信恵 山口八千代 山田光  
 一 吉井玲子 吉田健司・千里 渡邊晋 (敬称略)

【裏返し古封筒を届けて下さった方々】  
 井下秀子様 春日美恵子様

【記念切手を送っていただいた方】  
 田中順子様

☆皆さん、ありがとうございます。昨年秋より領収証は発行しておりませんので、  
 もしも送金したのにお名前が無い場合はお知らせ下さい。

《お便りから》(敬称略)

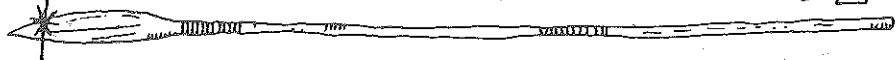
★老齡、病氣、疲労で、若いときほどのような体を張った行動ができなくなっていま  
 すが、皆様の行動に常々敬意をもっております。ささやかなカンパを受け取って下  
 さい。(木村久吉)

★自然環境保護運動はいま世界中の声となっています。世論のさきがけとなっている  
 ウータンの会はまさに先見の運動体でしょう。今後とも一層のご活躍を祈っていま  
 す。(永田展雄)

★いつも通信をありがとうございます。時代の転換をはかっていきたいものです。

(畑章夫)

# HUTAN ACTION SCHEDULE



◆ アースデイ 2000 キャンペーン記念イベント ◆

やってみせ!! エコダイエツト  
おおさか880万人のアースデイ



◆ 来て、見て、富めて、おおさかアースデイ!

◆ もちろんウータンも参加しています! 詳しくは同封のビラをご覧ください!

フリスビーもエコ! 地球の恵み  
おっぱり運動会禁止  
やっぱり  
クリン・エネルギー  
ごみを捨らしい  
なくそう  
ゴミオケン  
いらぬの服類!  
いらぬおエネ  
やろう園林!  
おそうお道  
お買は地球環境の  
もとだっせ!  
捨てらるる期限に優しい  
開封時の状態を  
今日から始めるグリーン購入  
フロンティアドリンクも  
STOP!!  
お買はるるお買はるる  
100%お買はるる

市民も企業も行政も  
みんなみんなアースデイ  
あなたも私もエコ・ライフ  
子どもと親そう!  
私たちの未来を  
私もアルミも何利用  
私も学校も環境教育  
私もより自然環境利用を!  
紙バックよりビン利用を!

行動をおこす日  
それがあなたのアースデイです  
地球も悲鳴をあげています。私たちもちょっとやり直さねば! みんなでエコダイエツトしませんか? 4月22日は世界中が地球の日、みんなでおおさかのことを考えようよ!!

日時 2000年4月22日(土) 10:30 ~ 15:30

◆ 15:30より大坂駅までパレード!

場所 扇町公園、大阪市立北区民センター

主催 アースデイおおさか2000  
後援 環境庁、大阪府、大阪市



## ウータン・森と生活を考える会

【OFFICE】〒530-0015 大阪市北区中崎西1-6-36  
サクラビル新館308  
「関西市民連合」気付  
Tel.06-6372-1561

【一部】300円 【年会費】3000円  
【郵便振替】100930-4-3880

◎購読希望の方は郵便振替で申し込み下さるか、又事務所までご連絡下さい。  
◎ウータン定例会は、毎月、第2、第4火曜日7:00pmより「関西市民連合」事務所にて行っております。